

◆ 博士前期及び後期課程
精密科学・応用物理学専攻
量子エンジニアリングデザイン研究特別プログラム (QEDC) ◆
入学時期及び出願資格の変更について

以下のとおり、入学時期及び出願資格を変更し、ダブル・ディグリー・プログラムを実施します。

1. 入学時期・出願資格の変更

(1) 入学時期

博士前期課程・博士後期課程ともに入学時期を平成 29 年度から 4 月及び 10 月の年 2 回とする。

(2) 出願資格

博士後期課程について、平成 28 年 10 月入学募集から日本人学生にも出願資格を認める。

2. ダブル・ディグリー・プログラムの実施について

(1) 目的

本ダブル・ディグリー・プログラムでは、連携大学と協働で次の技能を持った研究・教育人材を育成することを目指す。

①理論・実験・シミュレーションが横断的に融合した最先端の量子エンジニアリング研究

②アジア諸国とのネットワークを活用して国際的共同研究を遂行するコミュニケーション能力

(2) 連携大学

博士後期課程精密科学・応用物理学量子エンジニアリングデザイン研究特別プログラム (QEDC) から特別選抜で学生を受け入れ、以下の大学と連携して実施するダブル・ディグリー・プログラム (DDP) を受講させることとする。

① インドネシア共和国

・バンドン工科大学産業技術学科

<http://www.fti.itb.ac.id/english/>

・バンドン工科大学数学・自然科学科

<http://www.fmipa.itb.ac.id/?lang=en>

② フィリピン共和国

・フィリピン師範大学大学院教員教育研究科

<http://www.pnu.edu.ph/colleges/college-of-graduate-studies-and-teacher-education-research/>

・デ・ラ・サール大学理学部

<http://www.dlsu.edu.ph/academics/colleges/cos/>

(3) プログラム概要

① 受入開始時期 第一期生入学時期：平成 28 年 10 月 (予定)

② 両大学の課程双方に在籍の上、単位互換制度を利用し通算 4 年間で学位取得を目指すものとする。

ただし、本研究科においては長期履修制度を適用することとする。

③ 研究履修スケジュールは、概ね次のとおりとする。

・1 年目は、本研究科において講義を受講し研究指導を受けるものとする。

・2 年目から 3 年目までの期間においては、連携大学において講義を受講し研究指導を受け、学位審査に合格した上で博士論文を提出し、連携大学の学位取得を目指すものとする。

・4 年目は、本研究科において講義を受講し研究指導を受け、学位審査に合格した上で博士論文を提出し、本研究科の学位取得を目指すものとする。

(4) 両大学での研究テーマは、両大学の指導教員の共同研究に基づき選定する。

(5) 本学における修学では、英語で提供される科目を受講する。

(6) 連携大学における修学及び研究は、全て英語で行うこととする。

3. その他

- (1) 本ダブル・ディグリー・プログラムへの応募資格は、QEDC博士後期課程の新規入学者とする。
- (2) ダブル・ディグリー・プログラムに登録後、連携大学を退学した場合は、通常のQEDC博士後期課程へコース変更とする。本学を単位修得退学の要件を満たさず退学した場合は、連携大学も退学とする。
- (3) 詳細な募集要項（平成28年10月入学分）については平成28年1月頃、履修科目一覧、修了要件一覧は平成28年4月頃を目途に、QEDCホームページ <<http://www.dyn.ap.eng.osaka-u.ac.jp/QEDC/home.html>> で公表予定である。

4. 本件に関する問い合わせ先

精密科学・応用物理学専攻 森川教授 (Email: qedc-office@dyn.ap.eng.osaka-u.ac.jp)